

# 環境衛生課からの お知らせ

環境衛生課（吉備庁舎）  
清水行政局 建設環境室

〈ごみ分別すれば資源〉

## プラスチックごみの品質検査

家庭から出されたプラスチック製廃棄物（プラごみ）がどのようにリサイクルされているかご存じですか。令和5年度（2023年度）現在では、プラスチック収集場で選別された後、北九州市の製鉄工場に送られプラスチックの製造材料などに再生されています。再生するためには厳しく品質が問われ、製鉄工場では年1回、排出者（自治体など）が立ち会いの下、プラごみの品質検査（ベール検査）を行っています。直近では10月18日（水）にベール検査が行われ、異物（①汚れたもの、②PET製のもの、③プラ以外のもの、④医療系廃棄物、⑤危険品）が混入していないかをチェックしました。特に④と⑤は禁忌品と呼ばれ、ほんの少量でも混入していた場合は指導の対象となります。④の具体例としては注射器（針の有無は問わない）、チューブ類、点滴パック、

CAPDパックなどです。⑤の具体例としてはガラス片、ライター、カミソリ、針などです。

今回のベール検査では異物の量が全体で2.75%と少量であり、例年とおりの優秀な成績でした。しかし残念なことに禁忌品としてシリンジ（注射器の胴体部分）が1つ混入していました。医療系廃棄物は感染の可能性があるため特に注意が必要です。禁忌品をプラごみに入れることはリサイクルの妨げになるだけでなく、資源ごみを分別しているみんなの努力に水を差す行為です。禁忌品をプラごみに出すことは厳に慎んでください。



写真=混入していたシリンジ

## 環境衛生課のエコ活動

11月19日（日）に開催されたあり

だがわ楽市の環境衛生課ブースで、リユース子ども服のバザーを開催しました。集まった協力金一万円です。保育所の絵本を購入する予定です。子ども服の収集にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

また、ありがわ楽市では、生ごみ減量に役立つ水切りネットや、協賛企業のキクロン株式会社より提供いただいたスポンジやマグネットの配布も行いました。

ごみ減量の啓発活動をすることでごみの量を少なくし、使えるものは繰り返し使用する、エコな暮らしを始めるきっかけになれば幸いです。



## びん専用袋に 陶磁器（せともの）を入れないで

びん専用袋に陶磁器などが混じっていて、とても困っています。びん以外の物が混じっていると正常なりサイクルができない場合があります。びん専用袋にはびん以外の陶磁器、ガラス製品、プラスチック製品などを絶対に入れないようにしてください。また、スプレー缶はとても危険ですので、びん専用袋に入れずに使い切った燃えないごみ袋へ入れてください。

## 家庭から出る 燃えるごみの収集量

令和5年（2023年）10月／約293トン  
分担金相当額…約984万円／月

最近よく"SDGs（エス・ディー・ジーズ）"という言葉を目にします。これは国連が定めた「持続可能な開発目標」の呼び名です。ごく簡単にいうと「みんなが幸せで快適な生活を送れるような未来を作るための目標」でしょうか。

私たち生活者が直接SDGsに取り組める活動の一つがごみの減量化です。より良い地球の未来のためにごみを減らしましょう！